ヒメジャノメとリュウキュウヒメジャノメの卵の大きさの比較

高　橋　真　弓

静岡市北安東五丁目13番11号

A Comparison in the Egg Diameters of *Mycalesis gotama* MOORE and *M. madjicosa* BUTLER (Lepidoptera: Satyridae)

Mayumi TAKAHASHI

前報で南西諸島に分布する“ヒメジャノメ”はリュウキュウヒメジャノメ *Mycalesis madjicosa* BUTLER としてヒメジャノメ *M. gotama* MOORE から独立した種として扱うことが合理的であるということを述べたが*，両種の卵の直径を測定したところ，その大きさに統計的な有意差があることがわかったので報告する．

材料および方法

1978年5～6月，ヒメジャノメの静岡市産のもの5♀♀，リュウキュウヒメジャノメの沖縄島産のもの4♀♀，石垣島産のもの4♀♀および与那国島産のもの6♀♀に産卵させて得た卵，計605卵を顕微鏡下でミクロメーターを用いて測定した．

測定の結果

測定の結果はTableに示したとおりで，リュウキュウヒメジャノメの卵はヒメジャノメの卵よりも大きく，この種の三つの産地のものは，いずれも静岡産のヒメジャノメに対し，それぞれ99％以上の信頼度で統計的な有意差が認められた．また，*amamiana* FUJIOKA と *madjicosa* BUTLER の2亜種を含むリュウキュウヒメジャノメの三つの産地のもののあいだには，上記の信頼度でそれぞれ統計的な有意差がないことが明らかになった．

なお，卵の色彩は，ヒメジャノメでは淡緑色で，中には白色に近いものがよく見られるが，リュウ

Table.　A comparison in the egg diameters of *Mycalesis gotama* MOORE and *M. madjicosa* BUTLER.

Species	*M. gotama*	*M. modjicosa*		
Localities	Shizuoka(Honshu)	Okinawa Is.	Ishigaki Is.	Yonaguni Is.
No. of strains	5	4	4	6
No. of individuals	163	189	160	93
Egg diameter (mm)				
Mean	1.03	1.13	1.11	1.12
Standard deviation	0.043	0.057	0.044	0.031
Maximum	1.14	1.25	1.18	1.19
Minimum	0.89	0.95	0.97	1.05

*　高橋真弓，1978，“ヒメジャノメ”の亜種間雑種と“種”の再検討．蝶と蛾，**29**: 175～190.

キュウヒメジャノメの奄美群島から沖縄群島にかけての亜種 *amamiana* ではやや黄色味を帯びることが多く，また八重山群島に分布する亜種 *madjicosa* ではいくらか青味を帯びる傾向が見られる．

考　　察

測定された卵の直径を体積に換算すると，リュウキュウヒメジャノメの卵は，ヒメジャノメの卵の約1.3倍にもなり，かりに両者の卵巣をほぼ同じ大きさと仮定すると，前者の産卵数は後者の約76～80％ぐらいとなる．すなわち，ヒメジャノメの方は産卵数を増やして森林地帯から周辺のくさむらに進出し，開放的な，いわば第四紀的な環境により積極的に適応しようとする種といえるかも知れない．いずれにしても，両者の産卵数を実際に調査してみて，卵の大きさのもつ意味を考える必要があるだろう．

なお，今後，ヒメジャノメの朝鮮半島，台湾および大陸産のものの調査が期待される．

Summary

Egg diameters of *Mycalesis gotama* Moore, from Shizuoka city, central Japan, and *Mycalesis madjicosa* Butler, from Okinawa Island, Ishigaki Island and Yonaguni Island, were compared.

A specific difference was seen between the two species, *M. gotama* and *M. madjicosa,* in the egg diameters, with statistic significance. Obtained data showed that the former had a larger size than the latter in the egg diameter.